

放課後等デイサービス ハートピアラ 支援プログラム

作成日：令和6年9月30日

<p>合資会社ハートフルライフ 法人理念</p>	<p>今、この瞬間にもたくさんの命が生まれています。そのすべての命は、いくつになっても、どんな病気や障害を持っても、幸せに生きる権利を持っています。「すべての人が、どのような状況下でも、自分の望む環境の中で、自分らしく生きていける」そんな基本的な願いを支えるためのお手伝いをしていきたいと、私たちは考えています。</p>		
<p>ハートピアラ 事業所理念</p>	<p>◎利用児童にとって、次の3つのような場所でありたいと考えています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・のびのびと過ごせる『たのしい場所』 ・ゆったりと過ごせる『あんしんな場所』 ・一人ひとりのよさを伸ばせる『あたたかな場所』 		
<p>支援方針</p>	<p>◎最も大事にしている支援は、『充実した余暇活動の提供』です。</p> <p>誰もが、生活の中でONとOFFのバランスが大事であると考えています。主に学習活動を一生懸命がんばるONの場が学校であり、その放課後、主に元気いっぱい遊んだり、疲れを癒すためにのんびりしたりして過ごすOFFの場がハートピアラ下溝であると考えています。充実した余暇(OFF)を過ごすことで、明日もまたがんばれる(OFFになれる)心のエネルギーを回復できると考えています。</p> <p>◎『充実した余暇(OFF)を過ごすこと』を通して、次のような成長を目指します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・放課後や学校休業日に、他利用者や職員と一緒に思いきり遊んで楽しく過ごす中で様々な体験をするという過程が、心の豊かな成長につながっていくと考えています。 ・他利用者と折り合いをつけながら余暇の過ごし方を決めて一緒に遊ぶことは、思いやりの気持ちやコミュニケーション力、人間関係調整力を育み、社会性の成長につながっていくと考えています。 ・自由な雰囲気の中で、自分自身で余暇の過ごし方を決めることは、意思決定の力につながっていくと考えています。 ・充実した余暇を過ごして得た達成感、自己肯定感の醸成につながっていくと考えています。 <p>◎大人になってからも、『充実した余暇(OFF)を過ごすこと』はとても大切なことです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・充実した余暇を過ごすことは、将来にわたって、心身の健康を保ち、人生を豊かにすることにつながると考えています。 		
<p>営業時間</p>	<p>10:00～18:00</p>	<p>送迎実施の有無</p>	<p>送迎有り</p>

		支援内容
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・手洗いの意識やスキルが高まるよう、励ましや称賛の声掛けをしたり、演示しながら一緒に行ったりしていきます。 ・その日の気象状況や室内環境に応じた衣服の着脱をできるようアドバイスをしていきます。 ・トイレ誘導や排泄介助が必要な児童には、自尊心を尊重したサポートを行います。
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・自分でできることは、自分で進んで取り組むように促し、生活動作の基本的技能が向上するようにしていきます。 ・トランポリンやバランスボールを使った遊び、運動場や公園での遊びを通し、多様な動きを獲得できるようにします。
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・気持ちの落ち着きにつながる余暇活動の提供を通し、本人らしくのびのびと過ごせるようにしていきます。 ・パズルや工作、アイロンビーズ等の様々な創作活動を通し、想像力や動作の技能が伸びていくようにします。 ・面倒なことでも他人任せにはせず、自分で進んでできるよう、励ましや称賛の声掛けをしていきます。
	言語・コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・正しい言葉遣いが身についていくよう、励ましや称賛の声掛けをしていきます。 ・自分の思いを伝えたり、他者の話を聞いたりすることが上手になるようアドバイスをしていきます。 ・発語の難しい児童には、自分の思いを自分なりの方法で伝えることが上手になっていくようサポートしていきます。
	人間関係・社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶をする動機や習慣化につながっていくよう、励ましや称賛の声掛けをしていきます。 ・誰に対しても優しい接し方をしたり、仲のよい関係づくりが上手になったりするようアドバイスをしていきます。 ・他利用者と一緒に活動している中でトラブルが起こった場合には、その解決の方法をアドバイスしていきます。
	※5領域における本人支援の内容については、児童一人ひとりのアセスメントを丁寧にし、その個性や特性に応じた支援を行っています。上記はその一例です。	
家族支援	保護者との報告・連絡・相談を密にし、本人についての情報を共有していきます。また、予定日以外の利用や預かり時間の延長等のニーズに対応することで、保護者が就労やレスパイトの機会を確保できるようにしていきます。	
移行支援	保護者や学校、他事業所等の関係諸機関との連携・情報共有を行い、本人についての情報を共有していくことで、学年や学期の切り替わりの時期等、節目の時期における環境の変化に緩やかに馴染んでいけるようにしていきます。	
地域支援・地域連携	地域の公共施設を利用し、地域資源を活用していきます。また、学校や他事業所等の関係諸機関との連携・情報共有を行い、地域における成長を支援していきます。	
職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> ○児童についての情報を共有し、一人ひとりの個性や特性の理解に努め、支援の質の向上を図っていきます。 ・打合せ（毎日の始業時と終業時） ・職員会議（月1回） ○次の研修を通して、利用者の人権を尊重した質の高いサービス提供の推進について啓発していきます。 ・法人内全職員を対象とした「虐待防止・身体拘束適正化・権利擁護研修」（年1回） ・事業所内全職員を対象とした「継続研修」（年1回） ・新任者に対する採用時研修 ・その他、必要に応じた研修 	
主な行事等	<ul style="list-style-type: none"> ・公園や牧場などへのお出かけ ・映画鑑賞会 ・調理活動（お菓子やカレー等） ・eスポーツ ・クリスマス会 ・ハロウィンパーティー ・その他、季節ごとのイベント ・避難訓練（地震、火災） 	